魅力と活力
日本海側の中枢都市

時代見すえた道路整備を促進
ふれあい散策ロードの整備にも着手

都市交通体系の整備施策は、新しく新潟駅周辺地区の都市機能の向上と南北市街地の一体化をめざしての調査や新交通システム導入検討調査に入っていきます。

また道路の整備では、北陸自動車道の延伸部の新潟東I・C（仮称）から新潟空港にアクセスする下山江口線、国道一六号新潟西バイパス関連の新通線などの整備を進めるほか、新潟駅南地区と中山地区を結ぶ出来島上木戸線、北陸自動車道の新潟亀田I・C（仮称）と新潟駅南を結ぶ弁天線、河渡・松崎地区の重要路線である山の下東港線の延伸を図るなど、時代を見すえた交通体系の充実も図っていきます。また寺尾地下道の新設や学校町通の歩道整備などの道路改良を行うほか、道路舗装や道路排水側溝の整備を図り、地域の利便性、快適性、安全性に努めます。

さまざまな事業が展開されます

橋梁の新設は、須賀橋（仮称）の新設ほか、新潟西バイパス側道橋の整備を進めるなど河川断面の交通容量の不足改善を図っていきます。

交通安全施設等の整備は、本所江口線など三路線に着手し、紫竹山鳥屋野線の整備を完成させます。

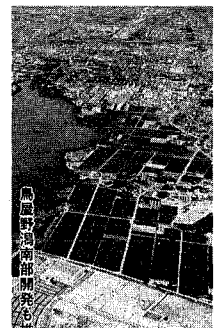
駐車場施策では、新年度、柾谷小路地区地下駐車場の実施設計を行うほか、三年度から始まった石宮公園の地下自転車駐車場を完成させ五年度に使用を開始します。

また潤いと快適さをめざしての施策では、ふれあい散策ロードの整備に着手、関屋分水路、鏡第一排水路など個所を選定して整備を行っていくほか、三年度設置の新潟駅前のガス灯にあわせて新潟駅万代広場にモニュメントガス灯などの照明を整備し、新潟のイメージアップも図っていきます。また歩行者のための的確で一貫性ある案内・誘導システム・都市サイン事業の推進も図っていきます。

万代橋下流連絡路
実施計画策定へ

三年度から進めている三十年後の新潟市の開発整備構想、具体的プロジェクトを描く「にいがた21ビジョン」を策定するために二千八百万円を計上。また広域行政の推進を図っていくため、新潟地域近隣市町村長懇談会などを通してなど新潟都市圏域のあり方を引き続き検討していきます。

都市計画のための新規施策は、まちづくりの指針づくりを行う都市総合基本構想策定調査をはじめ、まちづくり塾の推進など市民と一体となった都市計画の推進、三年度制定予定の都市景観条例に基づいた都市景観基本計画の策定、鳥屋野潟南部開発計画の推進も図っていきます。


鳥屋野潟南部開発も推進

充実のための整備計画調査、大規模工場の業種転換などに対応した土地利用転換地区整備計画調査など主なもので八千三百万円を計上しています。また万代橋下流連絡路と関連道事業実施計画策定や海辺のふれあいゾーン整備の推進、鳥屋野潟南部開発計画の推進も図っていきます。

昨年ウラジオストク市で開催された新潟・日本商品見本市

商工業の活性化へ
多彩な振興策

商業関係では、中小商業振興に配慮し、既存商店街の活性化研究事業の助成やアドバイザーの派遣事業などを引き続き実施します。融資制度では商店街等活性化対策資金を拡充するほか、大型店進出に対応するため大型店対策街づくり資金貸付金制度を新設し四億円を計上します。

総合卸売センター構想調査

中央卸売市場など市内の青果・水産・花きの各市場の再整備に向け、総合卸売センター化を含めた将来構想策定への調査を行います。

工業関係では、情報技術者の育成と産業の高度化を支援するため、第三セクターで地域ソフトウェアセンターの設立準備に、さらに情報化への理解を深めるために、ソフトウェア産業フォーラム'92を開催します。デザイン産業振興策では、国際時代に対応した高品質企画や開発力の強化・育成を図るため、国際デザインコンベンション92新潟を開催します。工業用地開発では、新たな工業地開発に向けて工業用地開発事業調査に着手し三千万円を計上します。

対岸諸国との経済交流については、経済代表団を中国・ロシア・韓国に派遣するのをはじめ、ハバロフスク環太平洋消費物資展'92や'92極東シンポリア見本市へ参加。新潟港を売り込むポートセールスには、県・業界と一体となって積極的に取り組みます。

冬の観光イベントを助成

観光では、日本海夕日コンサートや新規事業として計画されている冬のイベントに対して積極的に支援するほか、貴重な観光資源である海水浴場の充実を図るためビーチクリーナー購入など海辺の環境の充実を図るとともに、人材確保・時短促進援助資金貸付金制度を新設し、一億九千万円を計上。

勤労者総合福祉センター（B型）・テルサ新潟は建設に着手します。

人材確保に融資制度

勤労者福祉では、中小企業の従業員の福利厚生制度の充実を図るため勤労者福祉サービスセンターの財団設立に向け準備に入ります。また、人材確保・労働時間短縮の推進を図るために、人材確保・時短促進援助資金貸付金制度を新設し、一億九千万円を計上。

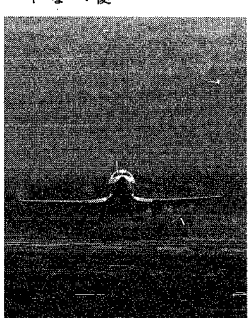
港湾・空港
国際化に向け整備

新潟空港の整備については、滑走路二千五百㍍の拡張事業に六億三千六百万円を計上、国・県とともに早期完成に努めます。また空港へのアクセスとしての新幹線の直通化調査を県と共同で行っていきます。このほか、空港周辺のための開発準備資金貸付制度を新設します。

新潟港の整備については、対岸諸国を中心とした新たな航空路の開拓やエアポートセールスを進めていきます。

施設整備と機能充実を図るための事業に七千七百万円を負担、港口部ルートや東港西埠頭大型コンテナ岸壁、航路泊地の浚渫のほか、緑地、臨港道路などの整備事業促進を図っていきます。また東港地区の整備を一層推進するため関係市町村で協議会を新たに設置し、その促進を図ります。

新潟港の利用活性化のためには、引き続き荷主や商社等貿易関係者にポートセールスも行っていきます。



地域の環境整備や空港の利便性を高め、活性化を図るため、対岸諸国を中心とした新たな航空路の開拓やエアポートセールスを進めていきます。

緑の田園構想
計画策定に調査

より農業に親しめるイベントも開催
（お米のオークラリーから）

農業振興面では、水田農業確立対策の最終年度として、転作作物の生産強化・定着を図るため、雨よけハウスや機械導入への助成を拡充。学校教育田の設置、好評のオーナー方式による市民ランドや市民農園の増設などで、農業への親しみをもってもらいます。

農業生産基盤整備では、赤塚地区での農道工事、南浜地区の排水路改良工事を引き続き実施するほか、新たに中野小屋地区で農道工事・用水路改良工事を実施するとともに、新通地区においても農道整備事業採択に向けて調査を開始します。

農村地域の環境改善では、下水道整備として農業集落排水事業を西山・江口地区で引き続き実施します。親水性景観のための新堀地区水環境整備事業では、憩いのスペース確保のために用地取得を行います。また、市街地周辺の田園整備のための「緑の田園整備基本計画策定調査」に着手します。

農業関係では人工魚礁の設置、稚魚・稚貝などの放流でき実施するほか、新たに中野資源の増大に努めるほか、新川漁港の整備促進、水産関連施設への助成を行っていきます。

園芸センターでは畑作農家のための栽培試験調査、花と緑のための講習会や相談業務を引き続き実施。車椅子用トイレの設置など観覧者向けに園内の整備を図ります。

土地区画整理
組合助成に2億6000万円

周辺地域を含む市街地の整備は、土地区画整理組合への助成基準を引き上げ、新崎駅南や新崎本町、赤塚駅前などの土地区画整理事業への助成金二億六千万円を計上しています。

また既成市街地の整備にあたっては、新しく都心部での土地の高度利用と都市機能の強化を図り、大規模プロジェクトの推進と一体的かつ総合的な整備を進める指針となる都市再開発方針策定調査に着手。学校町周辺地区の環境変化への対応に開発整備を誘導する地区更新基本計画策定の調査にも着手、あわせて一千五百万円を計上しています。

また、新潟駅南開発の推進には一億七千五百万円を計上。組合施行による新潟駅南四地区D3街区（弁天線と笹出線交差点付近）の市街地再開発事業は本組合を設立し、具体的な調査設計や土地整備など事業の推進を図っていきます。